

# 岩手県立山田高校ボート部へご支援を

2011.12.12



山田町を応援するマスコット、Yamada Genki (ヤマダゲンキ)のボールペン/シャープペンの売上から1本あたり400円がボート部に寄付されます。

国体でも圧倒的な強さを見せる山田高校のボート部19名の活躍は、山田町の誇りであります。しかし2011年3月11日の震災・津波により、山田湾に面していた艇庫は壊滅状態。20艇の船もすべて流されてしまいました。今までのような練習は出来ず、通常の練習はマシントレーニング。水上練習は、金曜日の夜から顧問の先生の運転で、花巻市の田瀬湖に移動し、土日にボートを借りて行っております。合宿費を少しでも安く抑えるため、艇庫の2階での自炊生活、合宿費は当初は遠野市のボランティアより出ておりましたが、9月23日にて終了しました。

遠征費に関して、宿泊費は補助で何とか出来るそうですが、問題は1回あたり2泊3日の食事代です。

1回の遠征で、一人当たり4,000円が掛かります。部員数19名、そして今年中に遠征が10回あるので、合計76万円が必要となります。震災で職を失った家庭も多い中その費用をどう捻出するかが大きな問題です。

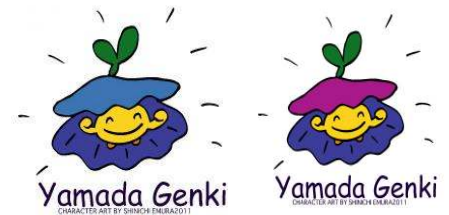
10/2～、山口国体では、地域の期待を背に、母校の伝統とプライドにかけて頑張りましたが、男子シングルスカル・女子クオドルブル(2人乗)とも、惜しくも準々決勝で敗退し、念願の優勝旗は持ち帰る事が出来ませんでした。10/15～16の東北大会新人戦(福島)では、女子ダブルス2位 男子ダブルス4位の素晴らしい成績を収めることが出来ました。

しかし、まだまだ遠征は続きます。

遠征に掛かる食事代 76万円、9/28の横浜ビーチフェスタで遠征1回分の7万6千円を送金、10/14に更に7万6千円振込み、11/15は3回分の22万8千円を送り、12/12に12万円送金し、合計50万円お送りしております。引き続き皆さまの元気パワーを頂けるよう宜しくお願いいたします。



Yamada Genki  
(ヤマダゲンキくん)



江村信一さんが山田町を元気にしたくて作って下さいました。山田町特産のホタテ貝がゲンキになるぞとガッツポーズをしています。頭には復興の双葉が芽吹いています。

岩手県立山田高校  
ボート部支援チーム

